

**福竜丸だより**

— 都立・第五福竜丸展示館ニュース —

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494

# 無条件で私は叫ぶ、そして悲憤の涙を流す……

第五福竜丸漁労長 見崎吉男さんの手記から

人間はまた新しい世界のとびらを開けた。そして人間は、自分のほつするあらゆるものを征服しようとしている。科学者を初めあらゆる学者は、何時迄たっても世界は、そして科学は未完成だと思っただろう。そして現在よりもっと完成に近づくために全力をつくすだろう。たとえ何年たとうと、人間は満足するまで物ごとを自分の考えたことのために努力するだろう。そして人間は何時までたっても満足しないだろう。そしてたまたまその完成の途上において、人間の考えている以上に大きな発見をしたり、人間の力ではどうすることも出来ないような大きな力にびっくりしたり、また犠牲者を出したり、喜んだり、泣いたり、悪い方に使おうとしたり、良い方に使おうとしたり、不幸になったり、幸になったり、とにかく科学は進

み、人間は生きて行くために、十にするためにまた新しい努力をする。どこ迄人間がよくが深いか、だれも予言出来ない。地球がある限り、人間が生存する限り、人間のよきは続くだろう。そして涙を流すだろう。何時の時代でも次におこるべき何かを心配し、心から静かなる楽しい時代をほし涙を流す人間は地位や名譽も財産もない人々である。いつわりのない世界をほし、人間らしく生きようとする人々は何時も裸の人々である。人のことを我がごとのように苦しみ、共に泣いでくれ、共に喜んでくれる人々は、人間の涙の味を知る人々であり、涙の苦しさを知った人間の生活がどれほど尊いか知っている人々である。

のために大きな努力をした人は、何時も名もない捨て身の人々であった。それだからといって、地位も名譽もあり、政治を行う人々は無関心であってはよいとは言えない。我々の代べん者となり、日本の幸のために全力をつくしている政府に対し私の心配をのべる。吉田首相は今日の極東で貴重な人物の一人とされるのは、問題を手がける彼のやり方が実際的なためである。彼が汚職事件、インフレ、反米感情などにもかかわらず政局を乗切ることが出来るということ、彼の政治的な抜け目なさを立しようしている。彼は日本を徐々に対米協力の方向に引張って行っている。そして彼はさらに現実的な抜目なさをもって、国内の危惧や脅迫にとらわれず、右の一層大きな目的を達成するため戦後日本の理想とするものの一部を犠牲にした。右のような大略な政府の行き方は大体わかる。つまり「俺の立場を支持するなら、お前の立場を支持しよう。」と言うことだそうだが、実際には何もわからない。今の政府が立派な政府であるか、また将来を通して現在の政治が日

第五福竜丸展示館の展示ケースの中に、長さ三メートルほどの巻き紙のような手記がある。第五福竜丸漁労長見崎吉男さんが事件直後の六月、東大病院の病床でつづったものだが、松阪屋デパートのそまつな包装紙を障子紙のようにはりあわせ、その裏にペンでびっしりと心況がしるされている。包装紙の裏紙というの胸つまるが苦悩にあふれ、人生への真摯な姿に身がひきしまる思いがする。原文のまま全文をここに収録した。

る慰謝料と家族の不安のない生活補償を要求する。そしてはつきりと決定しておく。我々との全快を待って、早急に処置する。右の事柄については、現在米国から支払われる補償とは全く別個のものであることを付け加える。

我々に与えた精神的打撃は、はかり知れないものがある。これを安く評価し、また無視するようなことは、絶対出来ないことを強調する。それと同時に福竜丸乗組員の名譽にかけて、この事件のために損害および迷惑をこうむった、各方面日本国民に対し、なっとくのいくような全面的に最も公正な立場で、最善の方法を要求する。

力で立って、自分の力で生活したい。その時の助力を補償として頂きたい。

そして、もう一つの私の心配していること、それが私的をはずれなかったために、私の頭からはなれない一つの事実を記して見る。

私は彼等と共に病室にいるのが苦しくなった。私の最も心配している痛い所をついた一言であった。けっして私はこの娘をにくらしいとも、また言動をせめようともする者ではありません。むしろ、この娘さんの心境のほうが正しいものだろうと思えます。ただし、我々にとってはこの話を路上の一挿話として聞きのがすことの出来ない何かを感じとり、将来の生き方について、また傷ついたら若い命の前途が思いやられてならない。

当時の被害の補償について、我々は話合っていない。そして、具体的な案も持っていない。それはまだ我々が病氣加療中であるからである。そして、最後まで(退院の日まで)静かなる心境と環境に我々自身をおくことがすべての面に十なるからである。ただし、忘れてはならない一番大事な話であり、将来の我々にとって重要な問題であるゆえに、病人の気持ちを刺激したくないから、今話すべき時期でないと思っている。そのためには、のちになって話の出来るようにしておいていただきたい。話はおくれることはこのまじくない。すべて早い方が良策であろう。

我々は現在、多くの人々の好意と当局のご尽力により、我々の心配はうすらぎ家族も一応、生活の不安から救われている。ただし、我々はいつまでも人に情をかけられれていることは、たまらない苦しさである。日本政府は速かに米国の申込し、米国は無条件で日本人の期待にこたえなければならぬ。

それはこの事件に対し、報道員が質問した焼津の一人の娘さんでした。美しい立派な娘さんのように。この娘さんは福竜丸事件

を私は強調し、私達は静寂なる人生を愛し、ご心配して下さる多くの人々に対し、一日も早く期待にそいたい。

現在、早急に解決されなければならぬ問題は多くあるだろう。そして、すべてが早急なる解決を叫んでいるだろう。

我々は補償金といえる金を突きつけられることは、最もこのまじくないことである。我々は自分の

